

東京3名・長野2名・盛岡1名

# 年末・年始、6名拡大で 2014年スタートダッシュ!!



歓迎 四村さんよつこそ国労へ

「歓迎 西村さん よこそ国労へ」と大書された看板を前にして、長野総合車両所支部新幹線 冒頭、佐藤分会長から

## 加入は自分で決めた 長野地本で 加入・歓迎会!

「1月1日付で加入していた。2月からエルダーで鉄道サービスに行くが、本人の強い気持ちもあって、現職での加入となった。引き続き、エルダー職場での改善に取り組んでいただきたい。」と歓迎の挨拶がさ

「1月1日付で加入していた。2月からエルダーで鉄道サービスに行くが、本人の強い気持ちもあって、現職での加入となった。引き続き、エルダー職場での改善に取り組んでいただきたい。」と歓迎の挨拶がさ

「歓迎 西村さん よこそ国労へ」と大書された看板を前にして、長野総合車両所支部新幹線 冒頭、佐藤分会長から



組合員の購読料は(組合費に含まれます)  
港区新橋5-15-5 交通ビル  
国労東日本本部  
発行責任者 松井正義  
編集責任者 伊藤隆夫  
No. 747 定価 20円  
2014年 2月1日

### 踏み出そう 仲間を待っている

http://www.e-nru.com/  
携帯用ホームページはこちらのQRコードから



議長の東京・中嶋さん

## 東日本青年部 第25回 12月7日 定期委員会

### 青年部新体制

- 【青年部長】 彦田 貴弘 (東京・東京新幹線信通技セ・東)
- 【副青年部長】 木村 洋希 (東京・新鶴見機関区・貨)
- 【常任委員】 坪井 大地 (長野・長野運輸区・東)

国労東日本本部青年部は12月7日、東京地本会議室に於いて第25回定期委員会を開催しました。参加した委員からは「入社して数年、仕事に対する使命感などを感じている」や「後輩の指導

東日本本部青年部は、こうした意見を参考に、青年部組合員の連絡体制強化、各地方の仲間と交流を図るために常任部がオルグ行動を行い、組織拡大に向け青年部がその先頭に立ち頑張ります。

担当になった。難しさを感ずるが、教える事で自分自身も成長していると感じている」など、青年の悩みを共有し、様々な意見が出された中에서도笑いもある委員会となりました。

年の初めの1月5日、仙台地本は春闘勝利活動家交流集會を50名の参加で開催しました。主催者を代表した大沼委員長は、右傾化する政治状況への危惧、政治主導で進められている賃上げと労働組合の闘い、職場を取り巻く状況など、

## 春闘勝利 仙台地本 活動家交流集會

1月5日 開催!

職場報告では、「テムズ社員の感電事故などグループ会社社員の傷害事故の報告」(電力)。「放射能汚染に対する取り組みから若手社員も一緒に学習交流を行ってきた」(車両センター)。「貨物格差は正に向けた取り組み」(貨物)や各支部か



大沼委員長

全ての闘いを組織拡大に結び付ける事を訴えました。講演では、東日本本部の武笠執行委員より「2014春闘情勢と職場の課題」について受けました。職場報告では、「テムズ社員の感電事故などグループ会社社員の傷害事故の報告」(電力)。「放射能汚染に対する取り組みから若手社員も一緒に学習交流を行ってきた」(車両センター)。「貨物格差は正に向けた取り組み」(貨物)や各支部から拡大に向けた取り組みが報告されました。そして最後に、一人一要求の取り組みや春闘総行動、原発いらぬフクシマ集會などの取り組みを全体で成功させ、組織拡大に結び付けていく事を確認し終了しました。



# 工作協議会 第26回定期委員会 12月14日

工作協議会は12月14日大宮総合車両センター・会議室において第26回定期委員会を開催しました。10時から鈴木副議長（長野）の司会で始まった委員会は、新潟を除く全ての委員の参加を確認、議長には加賀谷委員（秋田）を選出し、議事に入りました。

協議会を代表して挨拶した小野議長（大宮）は、①各地方大会・委員会に参加し、各地方で工夫し、拡大に向けた議論や取り

組みがされている。共通認識にして取り組みを行うことが大切であり、職協としても全力を上げてきた。委員会終了後には職協に尽力を頂いたOBや現職・国労の隊列に加わった方とレセプションを予定しており、今後取り組みの強化を図る。②東日本会社で進められて

いる「合理化事案」は本社に改善要求を提出している。早期に交渉を行い改善に向けて全力を上げる、との挨拶を受けました。

来賓として東日本本部の佐藤書記長から、①8月に開催した東日本本部大会の内容、②労働協約改訂の交渉経過、③安全・安定輸送確立と会社施策に対する取り組み、③仕事・安全総点検運動の強化と職場改善に向けた考え方、④組織強化・拡

大、⑤政治状況等について挨拶を受けました。また、運転協議会長谷川議長と神奈川職業病労災センターの池田さんより激励と連帯挨拶がありました。

その後、佐藤事務長（東京）が2012年度の経過と2013年度の方針（案）を一括で提案し、一旦委員会を休会して第59回工場・車両所代表者会議を開催しました。各工場から、①合理化事案に対する取り組み、②組織強化・拡大、③中央連絡会に向けての議論等の報告を受け、委員会を再開しました。

佐藤事務長からのまとめでは、①東日本会社で進められている合理化事案に対して早期に交渉を行い、新年度での「業務量交渉」につなげる。②拡大について喫緊の課題と位置付け、全組合員参加で行う。③アスベスト問題についてOBと連絡を密にしながら学習会等の取り組みを行う、④中央連絡会については組合員へ負担を求めない方向

# 東北協議会 第23回定期委員会 12月1日

東北貨物協議会は、12月1日に盛岡国労会館において、第23回定期委員会を開催しました。

前段、全国貨物協議会笠井事務長を講師として招き、「労働協約と関連労働者の組織化」と題して、労働協約改訂交渉の到達点と課題、関連労働

で引き続き議論を深める。とのまとめを行い、経過と方針（案）を全体の拍手で承認しました。役員改選については全役員が引き続き行うことを確認し、庄司副議長（仙台）の閉会挨拶ののち、小野議長の団結ガンバローで委員会を終了しました。

者組織化の重要性とその手続き等の講義を受け、約1時間にわたり学習をしました。

引き続き委員会は、小野委員（東北保全技セ）を委員会議長に選出し、その後大越議長より、「会社は道理の通らぬ理由で期末手当を超低額に押さえ付け社員と家族を苦しめている。国労は整然と

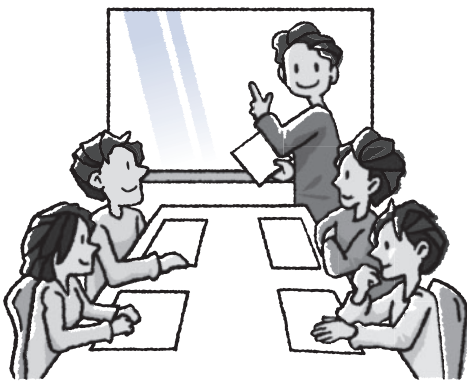
正当なストライキで闘うしかない。何としても組織拡大を達成し全国に報告しよう。そのために今委員会での活発な意見を願いたい。」とあいさつを受け、来賓の東日本本部吉田特別執行委

榎戸事務長、東北貨物協議会岩井前議長、全交通太田事業副本部長よりそれぞれあいさつを頂きました。

出席した委員全員から発言があり、その内容は「年間2、4ヶ月の期末手当の回答は、許されない。ストライキで闘ってほしい。」「55歳の3割カットの改善」「出向先の職場状況報告と労働条件改善」「空コン不足」「地元職場の復活と遠距離通勤の解消」「保全区では

11月に工事が集中している為、工事の分散化」の要求等が出されました。会社の動向を見れば2014年は

「賃金抑制」との闘いが継続されると見て間違いありません。年末手当妥結に当たつての見解にもあるように「労働組合が持つ権利を背景にした闘いを全力で展開する」を念頭に運動を進めていきます。



## 新採対策 写真募集



- 【募集期間】・2014年2月10日まで
  - 【写真内容】・電車・新幹線・列車走行風景  
働く姿  
・デジカメで撮影したもののみ
  - 【使用目的】・新採対策などのグッズ等に  
使用します
- ※ 詳しい募集内容・応募方法等は、  
東日本本部 HP 又は各地方本部まで

最新のがん治療に合わせて  
進化したアフラックの新しい  
「がん保険」です。



生きるための  
がん保険 Days

「生きる」を創る。  
**Affac**  
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)  
東京第三法人営業部  
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4036

募集代理店  
**アベニール 株式会社**  
TEL 03-3437-6810  
FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

©詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。 AF007-2011-0293 6月22日